

「金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナー」を開催

2011年10月26日

10月26日(水)にがん進展制御研究所棟4階 会議室において、東京薬科大学 免疫制御学研究室 田中 正人教授を迎え、「死細胞貪食による免疫制御」と題して、金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナーを開催しました。

セミナーでは、田中先生ご自身の最新の研究成果を示されながら、死んだがん細胞を選択的に取り込む新しいマクロファージ亜集団を発見された経緯と、それらのマクロファージのがん免疫活性化における役割について、大変興味深いご講演を頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約40名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



死細胞貪食による免疫制御

講演者

東京薬科大学 免疫制御学研究所・教授
田中 正人 先生

日時：平成23年10月26日（水） 17：00～18：00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

生体内で細胞死が起こると、その死骸はマクロファージや樹状細胞等の食細胞により速やかに貪食される。この死細胞貪食は、単に死骸を体内環境から取り除く“ゴミ掃除”であると考えられてきた。しかし最近になって、死細胞を取り込んだ食細胞は、死細胞に付随する抗原を提示することにより積極的に免疫寛容や活性化等の多彩な免疫応答に寄与していることが明らかになってきた。最近我々は、がん死細胞によるがん増殖抑制現象に注目し、がん死細胞を貪食してがん免疫を活性化する“死細胞担当マクロファージ”を同定し、本現象のメカニズムを明らかにした（Immunity 2011）。本セミナーでは死細胞貪食の分子機構とそれを応用した免疫制御法について我々の研究成果を発表する。